とうふう
東風
矢巾町立矢巾東小学校
校報　１３号
H27.10.1
文責　校長　菅原

学び合おう　礼節を重んじ　姿勢よく

被災地で命を学ぶ

9 月 25 日。防災教育並びに命の授業の一環として，沿岸被災地（宮古田老地区）の現地学習に行ってきました。
6 年生が対象です。

田老地区に降り立ったのは 10 時 30 分ごろ。旧田老町役場で 3.11 の津波のＤＶＤを見ながら当時の田老の惨状を目の当たりにしました。田老観光ホテルの社長さんが命がけで撮られたものです。防災の町，旧田老町。万里の長城とまで言われた世界一の防波堤を乗り越える凄まじい津波の威力にただただ息を呑むばかりでした。

震災ガイドの方に今の街づくりのことや防災の心得などをお話いただき，グリーピア三陸宮古に向かいました。この施設は，震災当時避難所となり，現在は敷地内に仮設住宅が建てられています。ここには「たろちゃんハウス」というプレハブの商店街が作られています。仮設住宅に住む方々が，衣食住に困らないように食料品，衣料品，理容店など，ほとんどのものが揃っています。

このことをご説明くださったのが，田中菓子舗の社長さんでした。田中さんご自身も仮設住宅に住まわれています。

この「たろちゃんハウス」の前で，金管のマーチングを演奏してきました。演奏の後で，田中さんが右のようなことを話されていました。

今の私達の状況を実際に見てもらいたい。だから来てもらって嬉しい。本当は，その当時のことを話したいこともあるのだけれど，町を守るために防潮堤の門を閉めに行って死んだ消防団員のことを思うと言葉に詰まって話せない。住宅や施設などが建ってきても心の復興はまだまだこれからです。

田中さんへ記念品を贈りました。

バスの中で，宮古に祖父母がいると教えてくれた子どもたちもいます。マーチング演奏をわざわざ聞きに来てくれた親戚の方もいました。

震災後４年がたちましたが，忘れてはならない被災地への思いを強くした１日となりました。

ちなみに，被災地支援として「真崎わかめ」をみんなで購入。私は特別に田中菓子舗の「かりんとう」（美味しいです!）を先生方へのお土産に買って帰りました。

☆☆☆